

# ①【複数年度(1年目)】AIやIoTを活用した観光交通の効率的な誘導に向けた社会実験(宮城県)

## 1. 実験概要、留意すべき項目

- AIカメラによる観光経路の渋滞状況や駐車場情報の満空状況把握及び情報提供、AIと連動した次世代モビリティの試行による情報提供モデルの構築や高度化を検証する。
- AIカメラによる駐車場満空情報を適切に観光客へ案内する事例として参考事例になる取組みとなること。

## 2. 今年度の調査内容、調査結果

### ① AI・ICT技術を活用した交通需要マネジメント

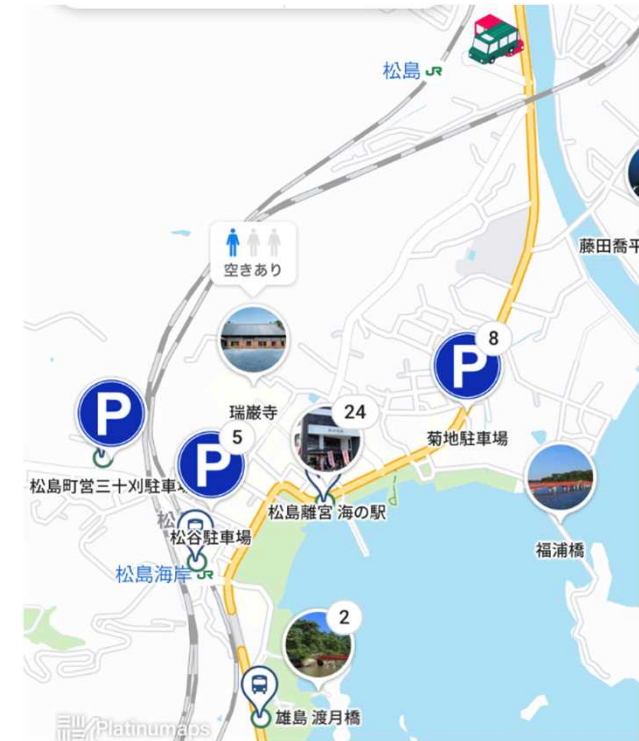
⇒デジタルマップによる駐車場状況や道路交通情報の掲示により、渋滞緩和や駐車場の分散に繋がることがわかった

### ② 多様なモビリティの運行によるシームレスな移動の実現

⇒2次交通としてシャトルバスを運行したが、松島海岸駅から松島レストハウスまでの商業施設への立ち寄りが減少



社会実験の実施



デジタルマップとシャトルバス運行状況の連携

## 3. 次年度の社会実験に向けて

### 実験メニュー

AI・ICT技術を活用した交通需要マネジメント

多様なモビリティの運行によるシームレスな移動の実現

### 実験内容

AIカメラやセンサー等を設置し渋滞状況を把握  
AIを活用し渋滞予測を行い、スマホやパソコン等のデジタルマップ上に表示

電気自動車(EV)を運行し、車両現在地や到着時間や利用可能な乗降スペース等の情報を提供

# ①【複数年度(1年目)】AIやIoTを活用した観光交通の効率的な誘導に向けた社会実験(宮城県)

## 4. 今後のスケジュール

- 令和5年4月 : AIカメラ、モビリティ活用検討
- 令和5年7月～10月 : 現地調査
- 令和5年10月 : アンケート調査
- 令和6年1月～2月 : 効果分析、評価

## 5. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
既存の交通情報(Googleのナビ情報、VICSセンターの配信情報等)に対し、どのような優位性があるか検討していただきたい。	デジタルマップ上に渋滞予測と駐車場の満空情報を一元的に表示するよう記載。
渋滞緩和に向けて、渋滞情報と駐車場の満空情報の効果的な連携方法を検討していただきたい。	デジタルマップ上に渋滞予測と駐車場の満空情報を一元的に表示するよう記載。
情報提供による道路利用者の行動変容への効果を定量的に分析し、より効果的かつ汎用性がある手法を検討するとともに、一過性の取組みに終始しないように、地域に根付くような工夫を実施してほしい。	ETC2.0の交通の変化を比較と、遠方駐車場の駐車状況の変化を比較し、行動変化の比較を行う。 地元観光事業者と社会実験に取組み、恒久化に向けた検討を行う。
事前の観光客へ駐車場情報や別公共交通機関への利用転換のアナウンス方法の具体化および、実験前後の変化の検証をしてもらいたい。合わせて新モビリティとの連携も検討してもらいたい。	公共交通機関での来訪を促すよう、県内外への広報を工夫する。
一般道における交通情報の収集・提供については、公安委員会が行っていることから、警察本部及び所轄警察署と調整し、連携した取組とする必要がある。また、道路上にカメラやセンサー等の工作物を設置する場合は、道路使用許可の対象となる可能性があることから、事前に所轄警察署と調整を行う必要がある。	協議会には県警も参加することから、随時調整を行いつつ、個別にも調整を行っている。
AIカメラを使って情報を取得するが、どの情報を使うのか、厳選する必要がある。	AIカメラでの情報は厳選し、旅行者や運転手へ有用な情報を提供できるよう調整する。
AIカメラ、EV自動車、電動車椅子といった多彩なメニューがあるので、中途半端にならないようにしっかり計画を立てて実施してほしい。	取り組み内容を綿密に調整し、より観光客が増えるよう、地元と協力して立案していく。

## 6. 評価

- 順調に実験が進んでいる。
- 次年度の実施内容が具体化されているため、継続して実験を行うことが妥当と考える。